

国際交流員ウルリーケ・シュラックの 今月のウリ場

Vol.14

中学生海外派遣で
「勘」じられたこと



皆さん、こんにちは（グーテン・ターク）！お元気ですか（ヴィー・ゲーツ）？8月に第1回下野市中学生海外派遣の引率者としてドイツの姉妹都市ディーツヘルツタールへ行ってきました。ですから、ドイツ語の挨拶も少し使ってみましょうね。今月の記事は「ことば・げんご」にも関連します。さて、ドイツ人の目を見た中学生派遣の感想を書かせていただきます。引率というよりも、通訳・相談・交渉・調整という仕事をしながら、写真を撮ったり子どもたちを観察したりと、あまり余裕がなかったのですが、気づいたところについて少しでも述べたいと思います。

ドイツまで飛んで、ホームステイして帰ってくるだけではなく、行く前にも保険の手続き、やさしいドイツ語や演目の練習などを含む事前研修が5回もありました。やさしいドイツ語といっても、ドイツ語のドの字も知らない生徒たちにとってはあまりやさしくなかったかもしれません。「ドイツ人って英語わかる？」と聞いてくる子が多く、私は「大丈夫でしょう。」と答え、ドイツに到着しました。早速、フランクフルト空港でドイツ中学生が手を振りながら迎えてくれました。最初の出会いはお互いに恥ずかしい様子が明らかで、それは仕方ないことだと思いますが、英語で会話を始めたのはドイツの中学生でした。

「日本の中学生は英語の会話が得意じゃないの？」と聞いてくるドイツの中学生もいました。しかし、時間がたつにつれて少しずつ、「言葉の壁」がなくなり、勘で通じる・何とかなるとわかってきて、氷がとけてきました。全体的な感想としては、ホームステイのおかげでドイツ家庭での日常生活、食生活を体験できたので、ドイツの風土、歴史、文化もよく理解できたことは間違いのないと思います。別れの時、涙やお互いに抱き合う姿を見て、たくさんの感謝や感動の気持ちがよく伝わったと感（勘）じました。しかし、日本に帰ってきて帰国式を行うと、一気に涼しくなりました。ドイツでの抱擁の挨拶が、日本ではお辞儀となってしまうので、人と人の触れ合いが少し寂しく感じられたのです。

派遣団の皆さん、ドイツでの思い出は一人一人違うかもしれませんが、この体験を通して皆さんが成長できることが、一番大切だと思っています。



姉妹都市にあるリニューアルされた石橋庭園



食事しながら「交流」

国際交流イベントのお知らせ

カーニバル in Grimm

～下野市国際交流協会 主催～

●日時 10月18日(土) 午後1時～3時 ●会場 グリムの館 ●参加費 無料

- 内容
- ・YMCA栃木による「地雷体験コーナー」
- ・台湾体験（中国茶の試飲や歴史の紹介）
- ・韓国体験（チマチョゴリの試着や伝統楽器にふれられます）
- ・ジャズ演奏
- ・ウリさんのびっくり箱も合同開催（ドイツのゲーム）
- ・軽食コーナー（有料）

8月26日(火)に行われた子ども達とドイツ・ミュンヘン大学生との「ふくべ細工」の審査発表が午後1時からありますので、大勢の方の参加をお待ちしています。

●申し込み 下野市国際交流協会事務局（生活課内）

☎：40-5555 ☎：40-5572

Email：seikatsu@city.shimotsuke.lg.jp

人数を把握するため、電話、FAXまたはメールで申し込みください。
(当日申し込みも受け付けますが、会場準備の都合上、事前に申し込みをお願いします。)

国際交流員

「ウリさんのびっくり箱 第8回」
～カーニバル in Grimm 内

「Kid's Olympic」～

色々なゲームを楽しみながら、小さなオリンピックを開催したいと思います。当日チームを作り、リレーやサッカー（袋飛び競争）などを行いますので、楽しみに！参加をお待ちしております。

